



浦添総合病院健診センターVision2035



すべての人に、健診を通じて健康と充実した人生を



健診センターのあゆみ 1900年代

<p>仁愛会の動き</p>	<p>1979 医療法人仁愛会を設立</p> <p>1981 沖縄浦添病院として開院</p> <p>1982 浦添総合病院へ名称変更</p>				<p>1997 介護老人保健施設アルカディア開設</p>		
	<p>1987</p>	<p>1988</p>	<p>1989</p>	<p>1993</p>	<p>1996</p>	<p>1999</p>	
<p>主要なできごと</p>	<p>□浦添総合病院の保健事業として、外来健診業務として開始</p>		<p>□健診システムをインフラとして整備し稼働を開始</p> 	<p>□健診部門が外来から分離し、健診センターが誕生</p>	<p>□徳山清公院長が初代健診センター長を兼任</p>	<p>□効率化のため新たな健診システムの導入</p>	<p>□浦添総合病院健診センターは、仁愛会の新規事業体として独立</p> <p>□新センター長が就任</p>

健診センターのあゆみ 2000年代

仁愛会の動き	へり患者移送事業開始		もこもこ保育園開園					理事長交代	
	2005	2006	2008	2014	2016	2017	2019	2020	2022
<p>主要なできごと</p>	<p>□健診センターが新築移転</p> 	<p>□日本人間ドック学会の機能評価で施設認定を得る</p> 	<p>□「高齢者医療確保法」に基づき、ヘルスアップステーションうらそえを開設</p>	<p>□県内医療機関初のISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）認証を取得</p> 	<p>□商業施設内に特定健診・特定保健指導クリニックアクティLIFEを開設</p> 	<p>□ヘルスアップステーションうらそえ業務を縮小</p>	<p>□スマートフォンによる受診者誘導支援システムを導入 □特定健診・特定保健指導クリニックアクティLIFE閉院</p> 	<p>□受付時間を4部制に変更</p>	<p>□WEB予約システムを段階的に開始</p>

浦添総合病院健診センターの
現状認識

成長段階と成長要因

旧病院から独立した事業体として、2005年に新築移転
業務支援ソフト導入などインフラ整備に努めた

自社を取り巻く環境

人間ドックの差別化と新たな付加価値の追加が望まれている
「健康日本21」「保険医療2035」で掲げるアウトカムの実現

核となるコアコンピタンス

半径10km圏内での人間ドックシェア率No.1
協会けんぽ健診が核心事業でリピート率が高い

浦添総合病院健診センターの
現状認識

事業面での問題の総点検
予約・キャンセルに関する業務が電話受付
保健師の人的資本は保健指導業務に集中・専念できていない

組織と経営システム
経営理念に忠実な社風
将来の幹部候補を育成する仕組みがない

計数から見た経営課題
直近5期は高収益体質が定着化。健診事業の安定した収益性を
堅固にし、法人全体の安定した収益性につなげる

問題の本質を認識し突破口を見出す

● 一言集約

創業理念に忠実な社風である反面、明確な中長期ビジョンがないため
核心事業の付加価値向上に難渋している

● 改善の方向性を定める

バリューチェーンを見直し（IT化など）、核心事業を研ぎ澄ますための
中長期ビジョンを創設する

Our Value Chane Improvement

企業広報

顧客ニーズの本質を理解
ロイヤルカスタマー獲得戦略

予約

Webの利活用促進
健診終了時の次回予約制度

コース内容

病院の専門性をいかしたサービス提供
新規検査項目の導入

保健指導

IT導入による効率化
保健指導率UP

アフターフォロー

利用者のPHR有効活用
企業の健康経営への貢献

支援

研修・教育体制の構築
エンゲージメントの向上

Our Value

Value 04

健康経営をサポートし、
社会の成長に貢献します



Value 01

信頼と人間性豊かな保健活動で
地域を支えます



Value 03

一人一人の健康情報を大切に管
理し、有効に利活用するための
支援を行います



Value 02

浦添総合病院が提供する高度な
専門性医療との丁寧な連携を約
束します



健診センターの
貢献価値

OVERVIEW



健診センター院長
福本 泰三

健診センターVision2035に向けて

「団塊の世代、約800万人が満75歳を迎え、後期高齢者となる。」2025年を迎えました。

浦添総合病院健診センターはVision2035を掲げ、個人の健康医療情報PHR ; personal health recordの利活用を促進し、企業の健康経営に寄与できる体制作り

取り掛かりろうとしております。2025年以降、さらに進展する人口減少と、高齢化に備え、個人の健康寿命の延伸が社会の労働生産性の向上につながることを期待し、地域のヘルスケアを支える一施設としての我々の使命を一步一步着実に体現して参ります。

一人一人の健康と社会の健康な成長のために
皆様から選ばれ続ける健診を提供します

浦添総合病院健診センターの基本方針

利用者の皆様へ、安心、安全で質の高い医療を提供できるよう努力致します。

健診結果に基づく健康管理支援を充実させ、アウトカム評価を行い、利用者の皆様が納得できる健診を行います。

浦添総合病院・他医療機関等との機能連携を推進し、地域との連携と共生を推進します。

私たちは、よりよい医療が行えるよう自己研鑽に努めます。

浦添総合病院健診センター Vision2035 中期経営計画

● 中期経営計画 1st Stage 2029



2024年度から2028年度の5年間を移転前と想定。



● 中期経営計画 2st Stage 2035

新施設へ移転後の2035年にあるべき姿として計画。



浦添総合病院健診センター Vision2035 中期経営計画

● 中期経営計画 1st Stage 2028 (2024-2028)

01

付加価値UP

ロイヤルカスタマー戦略と保健指導事業の拡充

02

労働生産性UP

予約・キャンセル・事前問診など業務改善による生産性の向上

03

リスクマネージメント

情報セキュリティの強化



Vision2035 中期経営計画 1st Stage (2024~2028)

01

付加価値UP

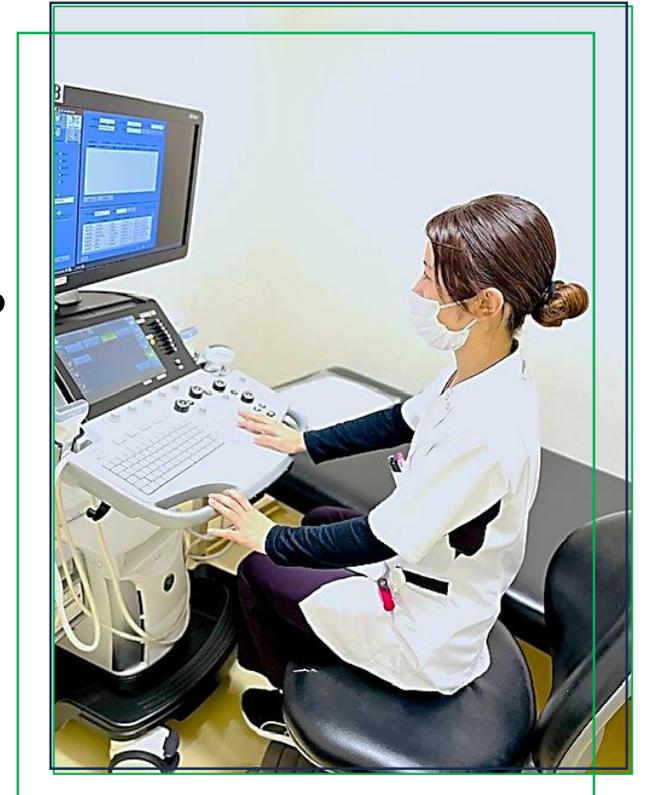
付加価値 (≡ 限界利益) = 総収入 - 変動費

スタッフひとりひとりが生み出すサービス全体の限界利益

01

ロイヤルカスタマー戦略

- ✓ リピート受診者及び人間ドック受診者の属性分析
- ✓ 繰り返しの受診や付加検査受診をお勧めすることで単価をUP
- ✓ 受診日に次年度の受診予約などを優先的に行う
- ✓ ご家族や知人の紹介・受診につなげる



Vision2035 中期経営計画 1st Stage

01

付加価値UP

02

保健指導事業の拡充

- ✓ 特定保健指導対象者や労災二次健診対象者の分析
- ✓ 特定保健指導ソフトの活用
- ✓ 委託企業ごとの健康分析
- ✓ 他施設の健診受診者から保健指導を受託



Vision2035 中期経営計画 1st Stage (2024~2028)

02

労働生産性UP

01

予約・キャンセル業務のDx化促進

- ✓ 脱電話予約！
- ✓ キャンセル枠の可視化
- ✓ 優先予約枠の確保



QRコード読込



問診回答,提出



02

Web問診の開始

- ✓ インフラの整備
- ✓ 支援ソフトの選定

業務効率化



時間外でも受診者へ
サービス提供したい...



03

リスクマネージメント

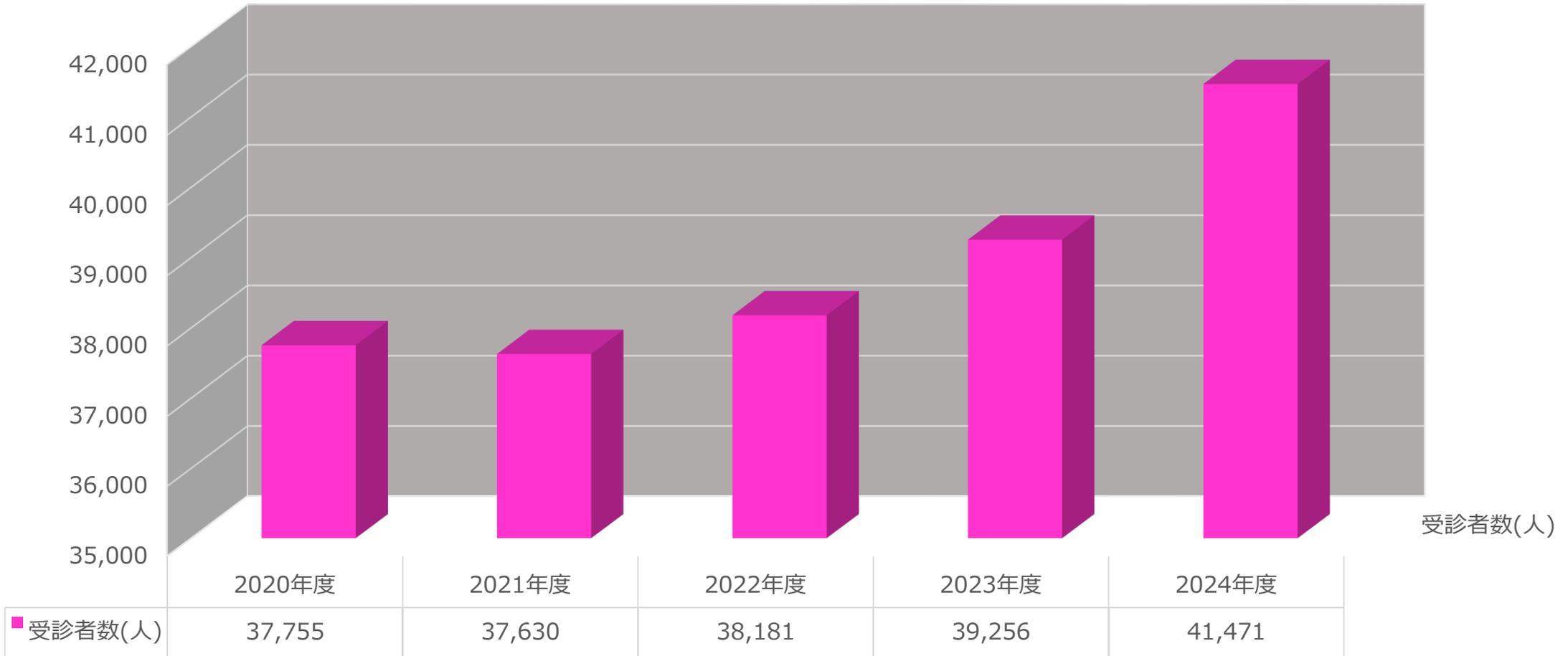
01

情報セキュリティマネジメントの強化



- ✓ データ管理をRPAなどを用いて一元化するためのインフラ整備
- ✓ ステークホルダーによる機密性の高い情報共有
- ✓ パスワードなどを用いたデータへのアクセス権の管理

Vision2035 中期経営計画 1st Stage (2020~2024)



Vision2035 中期経営計画 2st Stage

● 中期経営計画 2st Stage 2028 (2029-2035)

01

定性的ビジョン

- ✓ ロイヤルカスタマーが新たなロイヤルカスタマーを生み出す善循環が成立し、利用者の増加と顧客満足度の上昇、そして付加価値UPに成功する
- ✓ PHRの有効利用に成功し、新たな保健指導事業を確立させる。
- ✓ 企業の健康状態の診断と適切な改善支援を行い「健康経営」につなげる新規事業を確立する



Vision2035 中期経営計画 2st Stage

● 中期経営計画 2st Stage 2028 (2029-2035)

02

定量的ビジョン

- ✓ 協会けんぽ健診・人間ドックの付加価値創造に成功し、
両者による年間売上高が10億円を突破する
- ✓ 新規保健指導事業の立ち上げに成功し、年間売上高が2億円を突破する



Vision2035 (2025年度)

発行 令和7年7月



社会医療法人仁愛会 浦添総合病院健診センター

〒901-2132

沖縄県浦添市伊祖3丁目42番15号

TEL : 0570-010-986 FAX:098-879-1156

